

刻む会 たより

No.58

2015. 10. 30

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・内岡貞雄・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL 0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 01590732405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

正会員3,000円 賛助会員1,000円

ホームページ

<http://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@me.com

北海道・強制労働犠牲者 朝鮮人の遺骨奉還・
「遺骨奉還 70年ぶりの里帰り」下関・法要
しめやかに

金静媛(山口県朝鮮人強制連行真相調査団・事務局)

(「刻む会」運営委員)

戦時下、北海道で強制労働の犠牲となった
朝鮮人の遺骨115体がキャラバン一行と共に、
9月11日から北海道を出発し、東京、京
都、大阪、広島の各地での法要を経て17日
に下関市細江町の光明寺(浄土真宗本願寺派)
で法要・追悼会後、関釜フェリーにて故郷の
朝鮮半島に帰り、京畿道坡州市のソウル市立
追慕公園で無事、納骨がなされました。

遺骨の返還に取り組んだのは日本と韓国の
市民団体で「強制労働犠牲者追悼・遺骨奉還
委員会」(共同代表||殿平善彦・浄土真宗本願
寺派一乗寺住職、鄭炳浩・漢陽大学教授)で
す。

同会は両国の市民ら大学生ら若者らを中心
に、1970年代から北海道内の炭鉱、ダム、

飛行場建設現場犠牲者の遺骨発掘と調査を行
って来ました。

この度の奉還は、戦後70年を節目に朝鮮半
島南部の本籍地が確認されている115体を
お返ししようと、企画されました。朝鮮人が
釜山で関釜連絡船に乗せられ下関に上陸、北
海道に連行された約3500キロ道のりを約
10日間かけて戻るキャラバンでした。奉還さ
れた遺骨は北海道の本願寺札幌別院に残る遺
骨のうち71人、三菱美唄炭鉱犠牲者6人、朱
鞠内ダム工事犠牲者4人、浅茅野陸軍飛行場
犠牲者34人の計115人です。

7月に共同代表の殿平善彦さんから、奉還
の主旨と「ぜひ、関釜連絡船の発着地・下関
での最後のお見送りを市民の皆さんでどうぞ」
との電話をいただき「山口県朝鮮人強制連行
真相調査団」と「刻む会」、岩国市在住で奉還
委員会の日本人側共同代表の藤谷光信(前参
議院議員)さん、下関・光明寺住職の泉哲郎
さんらの協力により呼びかけ人の会を作り、
法要を開催する運びとなりました。



返還は国がすべきこと、民間が和解の契機を

追悼会で殿平善彦さんは「遺骨の返還は日
韓政府が責任を持って行うべきだが、遺骨は
掘った者が、お返しすることでご遺族の心を



お慰めすることができ「などとスライド写真を見せながら経過報告しました。また韓国の遺族の金敬洙(キムギョンス)(64)さんは「遺骨の返還は本来は国が責任を持ってすべきことだ。しかし、今回が和解の契機となつて、政府が手を取り合つてすべての遺骨を返還することを望む」と訴えられました。

長生をはじめ、すべての犠牲者遺骨の返還を

光明寺での法要には県内外から約150人の朝鮮人、日本人が参加しました。泉哲郎住職の読経がはじまると、焼香、そして朝鮮人は朝鮮式のチエサ(法事)のお供えの前で犠牲者にひざまずいてクンチョル(お辞儀)を捧げました。115体もの遺骨を前にすすり泣く同胞の姿が多く見られました。

会の最後に「刻む会」共同代表、井上洋子さんがあいさつし「北海道のご遺骨の返還に続き、地元の長生炭鉱の朝鮮人犠牲者の遺骨を必ずご遺族のもとにお返しするために会が、いっそうの努力をし、皆さんのご協力をお願いしたい」と強調しました。



遺族の金敬洙(キムギョンス)(64)さん

私自身も遺骨となつて故郷に帰る同胞、戦後70年経った今、消息すらも不明の数多くの同胞の無念を思つと、始終胸が詰まりました。2004年12月、盧武鉉大統領と小泉純一郎首相(当時)の韓日首脳会談で「戦時中の朝鮮半島出身の民間徴用者の遺骨の問題につき、盧武鉉大統領より、その所在の確認および遺骨の奉還の希望が表明された。これに対し、総理より、何ができるか真剣に検討する旨応答した。」との記録がありますが、当時日本政府は地方自治体や関連企業に情報提供を呼びかけましたが、多くは非協力的で、ほとんど実績は報告されていません。この度の法要をきっかけに、一日も早い解決に向け努力を続けなければならないと強く思いました。

下関追悼集会は山口県朝鮮人強制連行真相調査団と刻む会が共催で開催しました。

当日は、多くのマスコミがきており、NHK山口放送局、yabの夕方のニュースで放映されました。特にNHK山口放送局では、「刻む会」の内岡共同代表の取材シーンが10分程度特集で流れ、長生炭鉱の問題と絡めて放映されました。

また、韓国KBSテレビでもこの遺骨奉還のドキュメンタリー番組が放映され、下関での見送りシーンで井上共同代表がインタビューされたワンシーンがありました。

NPO法人「無窮花堂友好親善の会」第20回 秋季ムクンファ堂追悼式に参加して

―行政の前向きな協力―

共同代表 内岡貞雄

■はじめに (私たちは励まされた)

2015年10月12日、福岡県飯塚市霊園にある「無窮花堂」の追悼式に参加した。「無窮花の会」との付き合いは、1999年の長生炭鉱57周年追悼集会で、故妻来善さん(故ペ・レソン、無窮花の会代表)に講演していただいていた以来、ずっと続いている。その間、長生炭鉱追悼碑建立や行政交渉でレソンさんにハッパをかけられたりして、「刻む会」は激励され続けた。また、2003年の61周年追悼集会では、飯塚在住でレソンさんと一緒に来宇された金春粉(キム・チュンブ)さんが、長生炭鉱水没事故のお話をしてくださった。(彼女は水没事故のとき西岐波小6年だった)「事故の前日、坑内のネズミが一斉に外に移動するという不吉な前触れがあったそうなんです」「事故後、アジユモニ(朝鮮人のおばさん)が民族服のチマ(スカート)の下に斧を隠し持ち、事故当日に嫌がる朝鮮人坑夫を木刀を持って無理やり坑内に追いやった〇〇という日本人労務係を捜していたのをこの目で見たんですよ」「朝鮮半島から強制連行されてきた朝鮮人は、逃げられないように木の格子がはめられた社宅に収容され、そばを通った時、私に何かを必死に訴えかけるのですが、私はその時、朝鮮語が理解できず、何もしてあげられませんでした」等々。(社宅(合宿所)の周囲は高さ3・6mの板塀が張り巡らされていた)チュンブさんのお話は、じつに具体

的で、私たちの心にしっかりと刻み込まれた。「刻む会」のメンバーは、長生炭鉱フィールドワーク時、あるいは183の位牌が安置される西光寺（浄土真宗派）での講話の時に、チュンブンさんの貴重な体験談をたびたび引用する。

■吉柳順一理事長のあいさつ

—「無窮花堂」の四つの目的—

現在、無窮花堂には裴来善さんの分骨を含め117体のご遺骨が安置されている。昨年六月、飯塚市議会では話題となった「数多くの朝鮮人が強制連行されたこと」、「筑豊には15万人にも上る朝鮮人が炭鉱で過酷な労働を強いられたこと」は、紛れもない『歴史の事実』である。この事を踏まえ、以下の目的を実現していく所存である。

(1995年作成)

- ・追悼碑建立により、両民族が年に一度犠牲者を供養できる。そのことを通し信頼関係を強化し、日韓、日朝間の友好親善に寄与する。
- ・在日コリア同胞は、日本国民と共栄共生し、未来永劫にわたって共存を構築する。
- ・両民族は、過去を反省し二度と過ちを繰り返さぬよう、歴史を正しく伝えていく。



吉柳順一理事長の挨拶

- ・無縁仏を収集し、住所、氏名及び引き取り手がわかれば、ご遺族の元にお還しする。
- 立派なご挨拶であった。

■来賓（飯塚市）あいさつ

行政から、飯塚市長代理の都市建設課長さんが挨拶した。「納骨堂に安置される犠牲者のご遺骨を含め、市としても今まで同様、貴会の国際交流広場での取り組みに協力させていただく所存である」というメッセージを読み上げた。

飯塚市は1998年7月に次のような通知文を出している。「飯塚市の歴史を顧みた時に、強制連行により朝鮮人をはじめとした外国人が、炭鉱労働者として過酷な労務を強いられ、そして亡くなっていかれたことは事実であり、こうした歴史的事実を後世に残すことが文化学園都市構築の礎となり、また、国際交流・国際親善の一助になってほしいとの願いを込めて、国際交流広場を整備するものであり、そうした中、貴実行委員会の主旨及び要望を検討した時に、本市の政策と一致するものであることから、国際交流広場の一部を貸し付けるものである」。

私たち「刻む会」は、飯塚市の「無窮花堂」への前向きな協力、「無窮花堂友好親善の会」と飯塚市との交渉から多くを学びたいと思う。

■献歌：「私の故郷」、「私の祖国の歌」が響く

今年の7月11日（土）、ユメニティ直方であったドキュメンタリー映画「60万回のトライ」の前座で活躍された歌い手、李大美（リ・デミ）さんと同イベントで司会をされた徐麻弥（ソ・マミさん）は歌姫に早変わり。お二人の透き通るよ

うな歌声が響き渡った。二人のチマ・チヨゴリも、よく似合っていた。また宗像から来てくださった演奏者の電子ピアノの音色もすてきだった。無窮花堂落慶から15年、秋季追悼式は第20回という節目の年に、こうした心を打つ追悼式が参加者一同で味わえたのは幸いであった。



李大美さん(左)と徐麻弥さんによる献歌

■おわりに

追悼式終了後、「歴史回廊」（2002年落慶）を見て回っている最中、どこからか「報道の自由！」という大声が聞こえた。明らかに右翼系報道と思しき記者・カメラマンの輩が騒いでいた。主催者側のすみやかな対応で事無きを得た。

帰路、武富戦争記念館（鞍手郡小竹町）に立ち寄る。戦争中、実際に使われた様々な品物が展示され、それらに触れさせてもらった。今、フィリピンのレイテ島陥落（1944年10月〜12月）に関する特別展示の最中だった。

2015年

▽6月25日(木)

発送名簿精査作業

▽6月26日(金)

「刻む会たより」発送作業

▽7月6日(月)

曹洞宗中国管区内宗務所教化
センター役職員人権啓発研修会フィールドワーク

長生海岸・参加者 37 名
山口グランドホテル約 50 名

小畑太作事務局長「共に生きる」というテーマで 60 分間講演。その後、15:00～18:00 まで現地でフィールドワーク。

▽7月8日(水)

山口朝鮮初中級学校補助金力ツ
抗議の県庁前座り込み行動参加

▽7月10日(金)

朝鮮総連結成 60 周年記念山口県本
部祝賀会

▽7月18日(土)

広島県高教組フィールドワーク



参加者 13 名 (うち、2 名は高校生で
朝鮮文化研究会メンバー)

長生追悼ひろばで追悼文を女子高校生に読んでもらう。彼女の眼に涙が浮かんでいた悲しみ(思い)を共有し、二度と戦争や人権侵害をくり返さないという気持ちを持った。

『さいたま人権教育 2015 年 9 月 5 日発行 No.359』より転載

特別リポルタージュ 山口県宇部市

長生炭鉱の水非常の歴史を胸に刻む

7 月 20 日、山口の友人を訪ねた。その友人から紹介されたのは「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の井上洋子さんだ。井上さんの案内でまず向かったのは、水非常の追悼碑のある広場だった。「水非常」とは、炭坑で起きる大きな水没事故のことだ。海底炭鉱である「長生炭鉱」は創業時からその危険性が言われ、多くの朝鮮人労働者が劣悪な条件の下で働いていた。1942 年、2 月 3 日、大量の海水が流入、入坑していた三百数十名の内、沖合の採炭場にいた 183 人(朝鮮人労働者 136 人、日本人 47 人)が生き埋めとなった。しかし、鉱山関係者は犠牲者を救おうとしないばかりか、坑口に板で蓋をし、誰も入れないようにしてしまった。そのため、今でも 183 人の身体は海の中に沈められたままなのだ。

慰霊碑の前で手を合わせた後、ピーヤと呼ばれる排気口が 2 本、海から突き出ているのが見える場所まで歩いた。あの下には 183 人の人が埋まっている。私は昔、父に聞いた話を思い出した。私の父も終戦前、山形の炭鉱にいた。終戦時、炭鉱で働いていた朝鮮人たちが解放を喜び、大きな音で朝鮮の歌を流し、ホルモンを焼いていた、という。ここに埋められた人々は、解放後も祖国に帰れず、冷たい水の中で放置されているのだ。本人と家族の悔しさと辛さはいかばかりだろう。

「長生炭鉱の水非常」は戦争遂行のために国・自治体・会社が一体となり、安全性を無視して石炭を掘り続けた結果、起きた「人災」だ。しかし、戦後 70 年にいたる今日まで、遺体の引き上げもせず、誰ひとり事故の責任を取っていない。「反省」したと言い、「お詫びする」と言う。しかし、この事故だけでなくうやむやのままにされている多くの事が(従軍慰安婦の問題ももちろんそうだ)解明され、誰に責任があったのかがはっきりされてこそ、そのように言えるのではないか。

山口から帰って数日後、毎日新聞に「支配した国 強制の記憶」という連載が始まり、長生炭鉱の事故が取り上げられている。その一部分をここに写して、私の思いの代わりとしたい。

(「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」が追悼碑を作ろうと働きかけ、実現に動いたとき、韓国遺族会から慰霊碑に日本人の犠牲者の名前を入れることに強い反対があり、遺族会も紛糾したが、最後にこのように回答した。)(前略)刻む会の深い考えを理解し、国籍ではなく気持ちが重要であると考えました。(中略)17 年間にわたって続いてきたお互いの愛情と信頼に傷が残らないようにしてください」

植民地支配を謝罪し、事実を明らかにし、犠牲者の尊厳を回復したいという刻む会の真摯な取り組みは、いつしか韓国人遺族の恨みを和らげ、日本人犠牲者と一緒に追悼碑も受け入れる寛大さを育んでいた。(毎日新聞 8 月 27 日版)このような取り組みを紹介してくれた友人に感謝している。

(埼人教取材班 秋山良子)

参考 証言・資料集【2】「アボジは海の底」長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会 発行

▽7月20日(火)

埼玉県人権教育研究協議会フィールドワーク(参加者4名)

▽7月23日(金) 第2回運営委員会

▽8月1日(土) 夏の学習会



夏の学習会のこと

横山 潤(運営委員)

今年の「刻む会」の夏の学習会は、8月1日(土)の午前10時半から12時まで、宇部市立図書館二階の講座室で開催されました。…と書きはじめていますが、自分が今回の原稿を担当するとは思ってもよらなかったで、たまたま見つかったチラシを眺めながら、曖昧な思い起こしをしている次第です。ご容赦を…。

今回は夏休みの図書館での開催、という試みでした。図書館に来ている子どもさんが来てくれるかも知れない、という。館内アナウンスもなされました。実際、途中で来てくれた小学生?がいました(途中だったせいか、帰ってしまっちょって残念)。

「刻む会」の内岡貞雄共同代表が、戦争について、ということで、対馬丸のおはなし。…大きな声で「戦争を知らない子供たち」を歌いだすのでびっくり(私事ですが、以前、この歌を作詞した北山修さんのコンサートに行った時、「『戦争を知らない子供たち』と言える世の中になってほしい」と言われていました…)。

長生炭鉱の物語、DVD『アボジは海の底』を観て、鄭美蓮(チョン・ミリョン)さんによるハングルのコーナー。「ウリエイウッソン」という歌をみんなで歌うことになり、たまたま私のちょっと知っている歌だったので、知人に大きな声で歌うよう、促されました。

すみません、うろ憶えなので、不充分きわまりない報告です…。運営委員会でのふりかえりで、「図書館で行ったことはよかった」という声が、ほぼ総意でした。参加者25名。

▽8月5日(水) 被爆70周年忌韓国 原爆犠牲者追悼式典

▽8月11日(火) 第3回運営委員会

▽8月22日(土) 坑口調査下見

▽8月27日(木) 山口朝鮮初中級学校補助金カット抗議の県庁前座り込み行動参加

▽9月11日(金) 第4回運営委員会

▽9月16日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カット抗議の県庁前座り込み行動参加

▽9月17日(木) 北海道遺骨奉還事業下関追悼集会

※1〜2ページ報告文掲載

▽9月21日(月) ニッコリしようパレード実行委員会

▽9月25日(金) 東京学芸大教員・坂井俊樹さん他1名フィールドワーク

▽9月26日(土) 山口朝鮮初中級学校 フィールドワーク

参加者8名



当日参加した「刻む会」メンバーの一人一人にお礼の色紙をいただきました。



▽9月29日(火) 第27回長生炭鉱水没事故問題解決協議会

議

▽10月2日(日) 韓国国慶日レセプション

▽10月3日(土) 在日コリアンマイノリティー人権研究センターフィールドワーク

▽10月8日(木) 東京人権啓発企業連絡会第7グループ(13社)PR部会

▽10月9日(金) 第5回運営委員会

▽10月14日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カット抗議の県庁前座り込み行動参加

▽10月16日(金) 第28回長生炭鉱水没事故問題解決協議会

▽10月17日(土) ニッコリしようパレード実行委員会

▽10月21〜23日 坑口調査

▽10月27日(火) 福岡県京築教育事務所フィールドワーク

会計報告 (2015 年 6 月 16 日～2015 年 10 月 21 日)

(円)

【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	350,000	64,000	257,000	73.4%	※1
2	寄付金	1,200,000	339,592	443,592	37.0%	※2
3	物販	120,000	17,600	17,600	14.7%	
	証言・資料集	70,000	17,600	17,600	25.1%	
	その他	50,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	5,000	0	2,000	40.0%	
5	前期繰越金	460,199		460,199	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	2,135,199	421,192	1,180,391	55.3%	

	歳出					
1	事務費	50,000	6,271	33,473	66.9%	
2	広報費	250,000	52,642	111,376	44.6%	たより送料他
3	会議費	20,000	20,000	20,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,382	2,465	24.7%	電気代
5	活動費	790,000	56,854	77,729	9.8%	
	学習会等	90,000	4,159	18,667	20.7%	春 FW、夏学習会
	追悼集会	500,000	0	6,156	1.2%	
	その他活動	200,000	52,695	52,906	26.5%	韓国被爆 70 年忌、北海道遺骨奉還他
6	他団体会費等	40,000	0	15,000	37.5%	
7	雑支出	20,000	26,202	28,942	144.7%	映画「抗いの記」賛同金他
8	予備費	50,000			0.0%	
	小 計	1,230,000	163,351	288,985	23.5%	
9	特別会計へ繰出	905,199	0	0	0.0%	
10	繰越金	0	257,841	891,406		
	合 計	2,135,199	421,192	1,180,391	55.3%	

※1 新規正会員登録 2 名（個人 2 名・団体 0 名）／累計 78 名（個人 71 名・団体 7 名）
 新規賛助会員登録 8 名（個人 8 名・団体 0 名）／累計 170 名（個人 165 名・団体 5 名）

※2 寄付者（敬称略）

足立 龍枝	安部 義祐	飯田 健	太田真由美	小川 信	小田 隆弘
金 炳 辰	香渡 清則	小暮 房子	斉藤 元紹	佐藤セツ子	白川 猶子
田崎 敏孝	田中 正美	田中 豊	崔 正 剛	永井 靖二	西村 章
野村 豊子	福島 直子	福田富美子	藤本エイ子	宮田 幸好	森田 恒一
山田 健一	湧川 静子	渡部 通英	在日コリアン・マイノリティー人権研究センター		
東京人権啓発企業連絡会	曹洞宗人権啓発研修会				（その他匿名 6 名）

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	2,013,756				
繰入金	0		繰越金	2,013,756	
合 計	2,013,756		合 計	2,013,756	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	2,000,000				
繰入金	0		繰越金	2,000,000	
合 計	2,000,000		合 計	2,000,000	

以上感謝をもってご報告いたします。
 引き続きのご支援をお願い申し上げます。

運営委員会報告

2015年6月16日～10月21日
紙面にて別途報告があるものを除く

事務局長 小畑太作

【委員会開催（2015年度）】

- ① 第2回運営委員会 7月23日(木) 欠席3名
- ② 第3回運営委員会 8月11日(火) 欠席4名
- ③ 第4回運営委員会 9月11日(金) 欠席3名
- ④ 第5回運営委員会 10月9日(金) 欠席5名

【学習会・フィールドワーク受け入れ】

- ① 曹洞宗中国管区内宗務所教化センター役職員人権啓発研修会 7月6日(月)
- ② 広島県高教組 7月18日(土)
- ③ 坂井俊樹さん(東京学芸大学・教員) 9月25日(金)
- ④ 山口朝鮮学校 9月26日(土)
- ⑤ 在日コリアンマイノリティー人権研究センター 10月3日(土)
- ⑥ 東京人権啓発企業連絡会第7グループPR部会 10月8日(木)
- ⑦ 福岡県京築教育事務所 10月27日(火)

【遺骨等収集】

- ① 政府交渉のために、社民党の福島瑞穂議員に打診。同議員との懇談ならびに厚労省への交渉を検討。
- ② 坑口探索について、8月に探索業者との調査下見実施。10月21日(水)～23日(金)に本調査を実施しました。坑口が明らかになれば、遺骨等へのアクセスの可能性が大きくなるものと考えています。
- ③ 今後のDNA鑑定実施に向けて、犠牲者と遺族のデータベースを作成しています。現時点で、採取した検体についての情報もここで一括管理するようにし、今後に確かに繋げていきます。

【74周年追悼集会】

日程及び内容について検討。詳細は別途案内にて。

【宇部市長との協議】

長生炭鉱水没事故問題解決協議会は第27回を7月16日(木)に、第28回を10月16日(金)に開催した他、この間に、宇部市教育委員会と別途9月29日(火)に協議を実施しました。

① 国政府の遺骨返還事業の中での、厚労省と宇部市役所とのやり取りの記録については未だ出てきていません。県庁にも控えがあるはずなので県議会議員を通して入手を依頼中です。

② ピーヤの説明板が、文言に歴史の歪曲があり設置できないでいることについては、当方の問題点に指摘について反論するわけでもなく、市教委は従前のまま、ただ修正する意思がないことのみを主張し続けています。また一点だけあった、宇部市全体の事業の一環だからという修正できない理由についても、この間、別の看板は全く違う文言であることが判明。理由ではなくなりました。

③ 土地の提供をはじめ追悼碑への協力については、当方が要請し続けているのみで、未だ対話にすら至っていません。市役所内部での検討中のようで、その回答待ちです。

④ ピーヤの保存については、当方は文化財等の指定を要請していますが、これについて法的に不可との主張をし出しました。しかしその法的根拠を求めたところ、全体的外れの法解釈でしかなく、改めて文化財等への指定に向けて協力を要請しています。

⑤ 石炭記念館の年表が作り直されました。しかし長生炭鉱の犠牲者を「殉職者」と表現。ピーヤ説明

板の歴史歪曲と同質であり、抗議・修正の要請書を提出しました。

⑥ 追悼集会への協力については、改めて名義後援と市所有のマイクロバスの使用許可を要請。前向きに検討してもらうことになりました。

この間も殆ど進展が見られない市行政との交渉ですが、「1ミリずつ」という思いで粘り強く問題の解決に向けて交渉を継続します。第29回は2016年1月7日(木)です。次回日程をその場で決定することに应じてくれたのはこれが初めてです。

【「追悼ひろば」の拡充】

「追悼ひろば」の説明文と犠牲者の本名と創氏名の対照表について検討。次回の追悼集会に間に合わせたいと願っています。また、長生炭鉱に関する絵画の設置についても検討課題としています。

【関係資料収集】

各種資料が散逸している状況に対して、出来るだけ事務局にて補完整理することとし、委員による資料収集を心掛けています。この間に地方史研究家による貴重な資料が寄せられました。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

毎月行われる県庁前の抗議行動への参加と案内。抗議行動後の集會にて、メーリングリスト、ホームページ、チラシの担当を引き受け対応しました。

<http://cssy-net.wix.com/shien-net>

【学習会等の開催】

「夏の学習会」を8月1日(土)宇部市立図書館にて開催。

【証言・資料集 第三集】

韓国「対日抗争期強制動員被害調査及国外強制動員犠牲者等支援委員会」による報告書の日本語版を第

長生炭鉱水没事故
74 周年追悼集会開催
のお知らせ

日時 2016 年
1 月 30 日(土)

場所 ヒストリア宇部

北海道強制労働犠牲者朝鮮
人遺骨奉還事業の報告と今
後の展望についての講演

殿平善彦さん

(強制労働犠牲者追悼・遺骨奉還委
員会共同代表/浄土真宗本願寺派
一乗寺住職)

- 【その他】
- ① 毎日新聞本社取材対応(「戦後 70 年 支配した国、強制の記憶」連載記事の中に掲載)
 - ② 韓国 KBS 放送取材対応
 - ③ 地元民との交流実施
 - ④ 『刻む会たより』 No. 57 発行。 No. 58 の企画。
 - ⑤ 朝鮮総連結成 60 周年記念山口県本部祝賀会対応。
 - ⑥ 移住者と連帯する全国ネットワーク主催「参議院院内集会」7 月 22 日(水)に賛同。
 - ⑦ (仮称)『山口武信追悼文集』発行を検討。
 - ⑧ 北海道遺骨奉還事業の 9 月 17 日(木)下関追悼集会に全面的に協力。
 - ⑨ 駐広島韓国総領事主催国慶日レセプションに委員を派遣 10 月 2 日(金)。
 - ⑩ 無窮花堂秋季追悼式に委員を派遣 10 月 12 日(月)。
 - ⑪ 見なおしせなおしフォーラムに委員を派遣 11 月 22 日(日)。
 - ⑫ ニッコリしようパレード in 下関 11 月 23 日(月)に協力検討。

山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題その後・・・

朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク ML ができました！(同封のチラシ参照)
ホームページが開設されました！<http://cssy-net.wix.com/shien-net>

近年、在日コリアンに対するヘイトスピーチ(差別的煽動表現)や、高等学校無償化の朝鮮学校除外・朝鮮学校への補助金カット等の「教育の差別」問題など差別的な事件が全国的に多発しています。私たちは、これらの問題を「刻む会」の目的に添って、見過ごすことのできない重要な問題だと考え、昨年度より引き続き、山口朝鮮初中級学校への補助金停止問題に取り組んでいます。

今年度も、毎月の県庁前座り込み行動に参加しています。今年度は座り込み終了後、当事者と支援者が今後の取り組みについて意見交換を行う座談会を開催しています。意見交換を通じて、相互理解が深まっている状況です。そして、メーリングリスト(ML)やホームページができました。

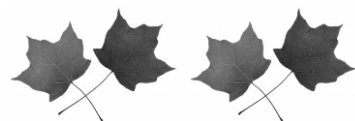
10 月 14 日(水)に行われた山口県学事文書課への申し入れ行動では、新しい課長と初めて対面しました。昨年国連人種差別撤廃委員会より勧告が出されたことを始め、他県では補助金再開したところもある中で、補助金停止した時(2013 年)から変化がないといい、これまでの主張を繰り返すのみの県の態度に、怒りがさらに深まりました。

今後も粘り強く行動を続けていかなければなりません。

11 月の抗議行動はお休みで、山口朝鮮初中級学校の公開授業・市民交流会が開催されます。

みなさま、ぜひご参加ください！

(「刻む会」山内弘恵)



学事文書課
藤井課長



申し入れで発言する
内岡共同代表



暑い中も、雨の日も座り込み頑張っています！

【同封物】

朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク ML チラシ
ウリハッキョ応援♡市民交流会 チラシ
第 2 回 ニッコリしようパレード in 下関 チラシ
募金パンフレット

お知らせ

ニッコリしようパレード 11/23(月)
下関市竹崎公園集合！
13 時受付開始・14 時～集会
15 時～パレード

